



日高市立高根中学校 学校だより

満天の星空

日高市立高根中学校
学校だより
令和5年度臨時増刊号
令和5年10月12日発行

学校教育目標 『知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成』

○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身ともに逞しい生徒

目指す15歳像 『夢を持ち自分の行動に責任を持つ かにたっ子』



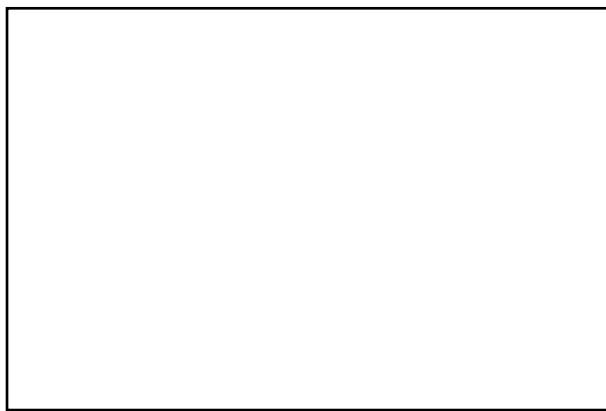
考えよう
家族みんな
スマホのルール
私たちは子供たちの情報モラル育成に取り組みます
日高市立高根中学校

高根中最後の体育祭



10月7日(土)、まるで高根中最後の体育祭を応援してくれているかのような秋晴れ、第41回体育祭が無事終了いたしました。来年度より義務教育学校として高根小に移転いたしますので、本校のグラウンドで行われる体育祭は、これが最後になります。生徒・教職員の全力により、高根中の集大成と言っていいような体育祭を創り上げてくれました。本学校だよりは、月初めの定期発行ではありませんが、臨時増刊号として、体育祭の様子をプログラムに沿って報告させていただきます。

<プログラムNo. 1 ジェットコースターロマンス>



2人が2m程度の棒の両端を持ちスタート。正面に置いてあるコーンの周りを半周し、戻ってきます。ランナーは、できるだけ持っている棒を低くし、その上を待機していた生徒が次々に跳んでいきます(左写真)。全員が飛び終わったら、ランナーは、さらに後ろのコーンまでダッシュし、コーンの周りを半周し戻ってきます。座って待機している生徒の頭の上を通し、一番前の人に棒を渡してバトンタッチとなります。抜きつ抜かれつの最後までどこが勝つかわからない、ドキドキの展開でした。

<プログラムNo. 2 大縄跳び>

1年生が1クラスであるため、この種

目のみ団対抗ではなくクラス対抗でした。1クラスを3チームに分け、1回40秒の制限時間の中で何回跳べるかを競います。3回の合計が一番多いクラスが優勝となります。3年1組が、3回合計143回で優勝となり、団対抗の総合優勝とは別に表彰されました。校長室にいと、毎日、跳んだ回数を数える1・2・3・・・という声が聞こえてきて、体育祭が近づいていることを教えてくれました。

<プログラムNo. 3 借り人の取りアッティ>



今年度の生徒会企画第1弾、レク種目です。団の点数には入りません。ランナーは、グラウンドを1/4周し、そこにおかれた箱の中からお題の書かれた紙を持って自分のチームの所に戻ります。そのお題に合致する人がいれば、その人にバトンタッチ。早くチーム全員がゴールすれば勝ちですが、勝敗を競う競技ではありません。結構正直に答えていました。「今朝の朝ご飯はお米だった人!」、1人も手が挙がらないと、もう一度紙を取りにいかねばなりません。

ん。生徒会のみなさん、とても楽しかったですよ。

<プログラムNo. 4 竹取物語>

実行委員会考案競技です。よーい・ドンで中央に置かれた棒を取りに行きます。短い棒が1点、長い棒が2点、装飾してあるキラキラ棒が3点。自分の陣地に持ち帰った棒の点数の合計がチームの点数になる赤団対白団のガチ勝負です。試合は、学年毎に2



試合ずつ行われ、その合計得点そのままチームの得点になります。勝敗数は、全学年とも1勝1敗でしたが、得点では、赤団の方が高得点でした。最後の方になると、1本の棒に数十人が群がり、意地のぶつかり合いとなる真剣勝負でした。

<プログラムNo. 5 つなひき>

白 VS 橙・緑 VS 赤・青 VS 黄を2回戦ずつ合計6試合行い、1勝する毎に5点が加算されます。橙・緑・青がそれぞれ2勝、赤団に10点、白団に20点が入りました。競技もさることながら、真横で見ている、他のチームや教員の応援も凄まじく、勝敗を超えた一体感が生まれました。

<プログラムNo. 6 美味(うま)娘デリシャスダービー>

生徒会企画・レク種目の第2弾。棒にぶら下げられたパンの引換券(衛生上の問題あるため、パンをぶら下げるのではなく引換券をぶら下げるといふ形に工夫してくれました)を走ってきて、ジャンプし、取るという単純なパン食い競争のような競技です。昨年は、うまい棒でしたが、今年はレベルアップしました。それだけに、盛り上がっていましたね。さらに、今年は、6年生も御招待。自由参加にもかかわらず、13名の6年生が集まってくれました(右写真)。小学生には、家に持ち帰られるようお菓子をプレゼント。少々余ったので、1人2袋の大盤振る舞いでした。

<プログラムNo. 7 サバイバル競争>

午後最初の競技です。いわゆる障害物競走。スタート後、ハードルの前に置いてある水の入っているペットボトルを足だけで立てます(実は、昨年はなかったのですが、勢いよくハードルに突っ込んでいくのが危険なので、体育科の教諭が工夫してくれました)。その後、ハードルをくぐります。次に待っているのは、柄杓の上にボールを乗せて走る、そして、跳び箱を飛び越えて、最後は風船をお尻で割り、バトンタッチ。後半は、柄杓の代わりに頭陀袋に両足を入れてピョンピョン跳ねる、その後、地面に引いた網をくぐり風船・ゴールとなります。1レースに全6色のチームが2人ずつ参加し、2・3年4レース1年3レースを行い、合計点が団の得点となります。

<プログラムNo. 8 色別対抗全員リレー>

いよいよ最後の競技です。6色のチーム対抗全員リレー。1チームの人数は22人に揃えたそうです。人数の少ないチームは2回走る生徒もいます。それぞれのチームで作戦を練って、どうすれば勝てるか真剣に考えました。練習の時は、白チームが1位でしたが、本番は、順位がコロコロ変わる展開で、最後は、青チームが逃げ切りました。22人もいますから、中には走るのが苦手な生徒もいます。それでも全員が全力で走り抜き、全力で応援し、素晴らしいレースを展開してくれました。

<まとめ>

天気に恵まれ、生徒に恵まれ、教職員に恵まれ、私にとって本当に幸せを感じられる1日でした。高根中の最後の体育祭、みんな、あっぱれ!

新人戦入間西部予選会結果報告



バスケットボール 男子 準優勝(県大会出場) ・ 女子 1回戦惜敗
卓球 男子団体 予選リーグ惜敗 男子個人戦ダブルス(・・・,・・・組) ベスト8
個人戦シングルス 男子2回戦惜敗3名 他1回戦惜敗 女子1回戦惜敗
陸上(入賞者) 2年100m 2位 11秒7(県大会出場) 走幅跳 5位 5m11
1年100m 4位 14秒4 5位 14秒5 砲丸投 5位 5m85
200m 4位(県大会補欠) 29秒7 走幅跳 4位 3m91
200m 7位 30秒9 走幅跳 7位 3m47
4×100mリレー 男子 6位 57秒2 ・ 女子 5位 59秒5

